

漁海況月報

平成27年11月16日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況予測

(1) 現況

11月9日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬で接岸したあと緩やかに蛇行しながら八丈島の北側を通過したあと南下し、東経141度から142度の間を北上しています。渥美外海は水温の低い水塊に広く覆われています。遠州灘では全体に下り潮(東向き)となっている模様です。

(2) 予想

熊野灘から遠州灘では冷水域が発達すると予報されていることから、渥美外海も徐々に上り潮(西向き)になると考えています。

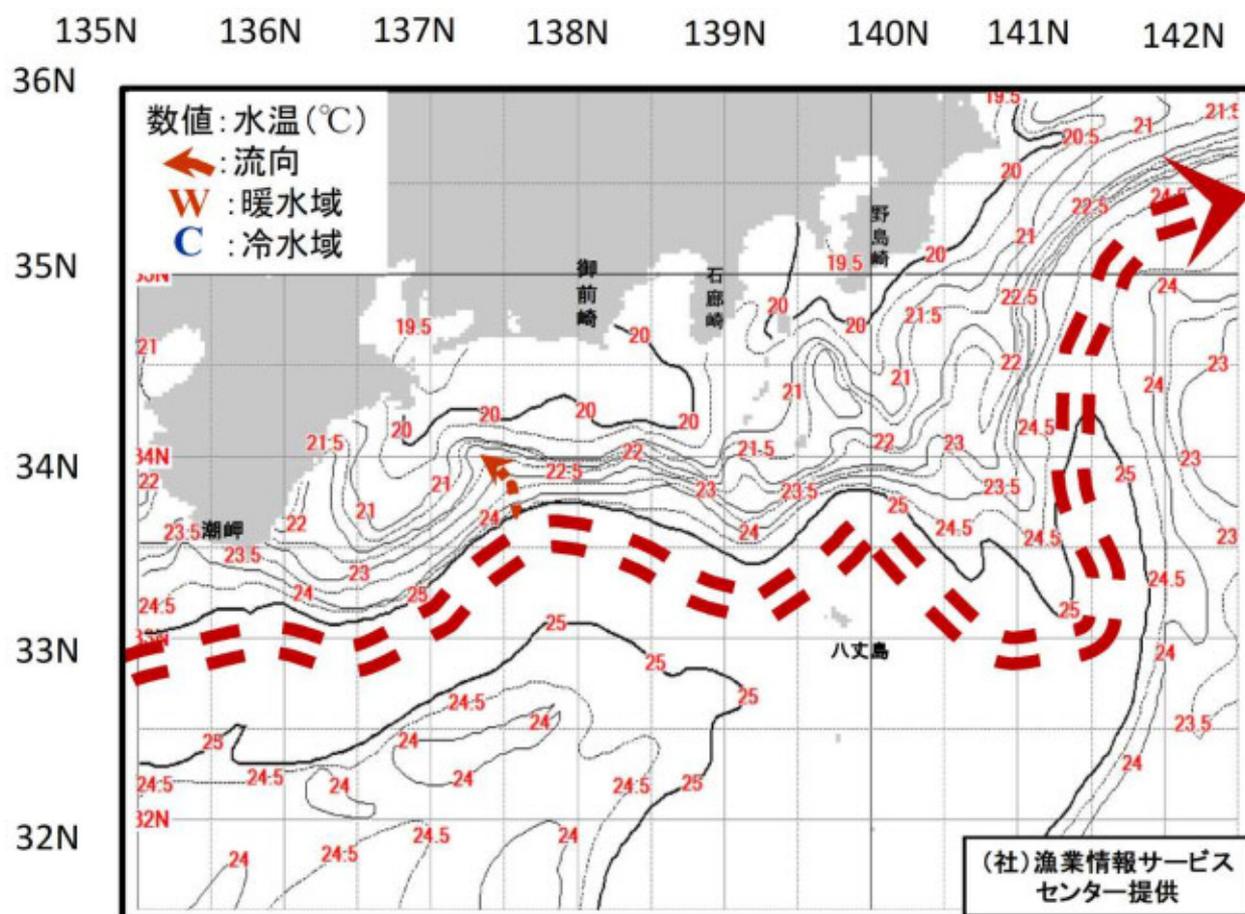


図1 海況の現況[2015年11月9日]

2 イワシ類

(1) シラス

10月の県内漁獲量は約1,002トンで、同じ時期としては、好調であった昨年には及びませんでした。漁場は、伊勢湾内を中心に外海にも広く形成されていました。

単価はカゴ(約20kg)あたり月平均で14,429円となり、昨年同月(13,356円)を上回っていました。

表1 愛知県シラス類漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1,642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002			7,079
10年平均	5	0	7	409	1,357	971	644	654	647	676	381	147	5,900

9月のカタクチイワシ卵の採集数は、伊勢湾、渥美外海とも低調となっていました。一方で、10月のカタクチシラスの漁獲量は増加しています。

秋季のシラス漁は、内湾での再生産よりも黒潮内側域からの供給に頼っている部分があるため、10月の漁獲量の増加は、黒潮の波及による外海からの供給があったものと考えています。

現在、黒潮の流路は蛇行傾向ですが、渥美外海沖で冷水塊の発達が見込まれることから、渥美外海は上り潮(西向き)となり、シラスの来遊に適した条件となるため、もうしばらくは現在の漁模様が継続すると予想されます。

表2 カタクチイワシ卵採集数

渥美外海の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	欠測	135	1,393	246	105	221	45	1	3	0	2,149
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5				976
平均(過去5年)	0	0	176	1,952	1,044	787	473	408	11	1	14	1	4,760

伊勢湾の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	417	3	15	N	5,414
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30	1,291	61				1,734
平均(過去5年)	N	N	N	9	729	3,441	3,857	1,908	383	84	81	N	10,491

(2) マイワシ (成魚・未成魚)

10月の操業の主体は三河湾となっています。

春のシラス来遊量が比較的豊富であったため、まとまった漁獲が期待されましたが、例年に比較して成長が遅かったこともあり、漁獲量の伸びは今一つとなりました。

表3 愛知県マイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	2,271	3,047	3,870	2,641			11,988
10年平均	0	1	0	0	1	32	167	568	423	165	72	24	1,006

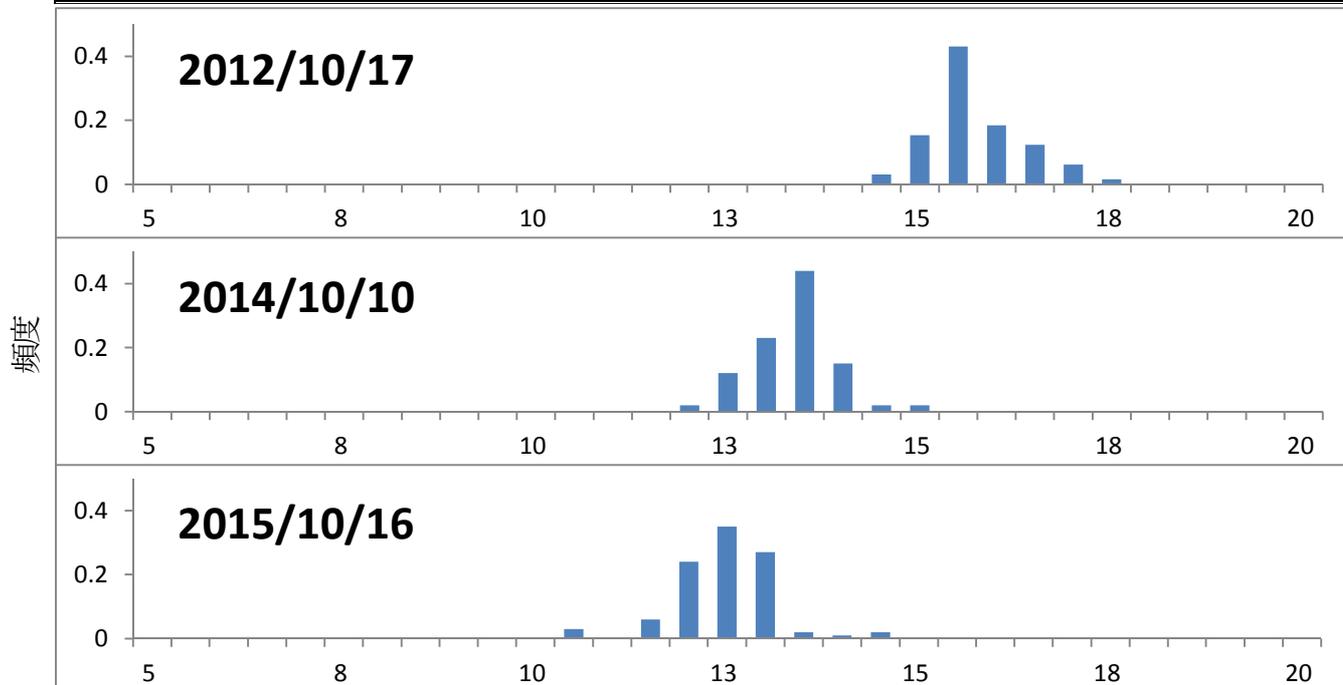


図2 マイワシサンプル(三河湾)の体長組成

体長(cm)

(3) カタクチイワシ (成魚・未成魚)

10月はカタクチイワシとしての水揚げはなく、マイワシに混獲される形でわずかに水揚げされています。

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	2,169	1,085	1,066	0			5,194
10年平均	61	25	12	214	738	1,861	3,926	4,091	2,398	1,526	1,312	737	16,899

3 トラフグはえ縄漁の漁獲状況（10月）

今年度のトラフグはえ縄漁は10月5日に初出漁となり、10月中に3回出漁しました。10月の漁獲量は22.5トン（前年比117%、平年比116%）、水揚げ金額は75.3百万円（同138%、同105%）、平均単価は3,339円/kg（同118%、同73%）となり、いずれも前漁期を上回りました（表5）。

表5 10月の漁獲実績

年度	初出漁日 (月日)	10月合計						1日1隻あたり		
		出漁日数 (日)	漁獲量 (kg)	水揚げ金額 (千円)	単価 (円/kg)	尾数 (尾)	隻数 (隻)	漁獲量 (kg)	水揚げ金額 (千円)	尾数 (尾)
H15	10月5日	6	24,439	105,990	4,337	22,082	493	50	215	45
H16	10月3日	4	7,273	58,993	8,112	5,547	323	23	183	17
H17	10月2日	6	7,838	51,946	6,628	7,241	419	19	124	17
H18	10月1日	5	20,293	77,722	3,830	21,734	385	53	202	56
H19	10月2日	6	45,796	119,520	2,610	53,661	525	87	228	102
H20	10月3日	5	31,328	136,246	4,349	31,866	402	78	339	79
H21	10月1日	4	41,223	79,612	1,931	49,012	361	114	221	136
H22	10月6日	2	11,330	43,500	3,839	9,481	162	70	269	59
H23	10月10日	4	9,602	47,968	4,995	7,990	285	34	168	28
H24	10月3日	5	9,517	50,659	5,323	8,520	299	32	169	28
H25	10月14日	3	5,109	32,042	6,272	4,348	182	28	176	24
H26	10月1日	4	19,267	54,582	2,833	21,250	252	76	217	84
H27	10月5日	3	22,541	75,271	3,339	25,006	202	112	373	124
前年比	4日遅れ	75%	117%	138%	118%	118%	80%	146%	172%	147%
※平年比	1日遅れ	67%	116%	105%	73%	124%	59%	202%	178%	220%

※平年はH15～26の平均値

今漁期の特徴として、前漁期に獲り残した1歳魚が2歳魚となって漁獲され、水揚げ金額を押し上げている点が挙げられます。片名市場で水揚げされたトラフグの全長組成から、今年度10月に漁獲されたトラフグの約10%は2歳魚以上であると推定され、昨年度の約3%を大きく上回りました（図3）。漁獲量が多いにも関わらず、平均単価が前漁期を上回っているのはこのためだと考えられます。

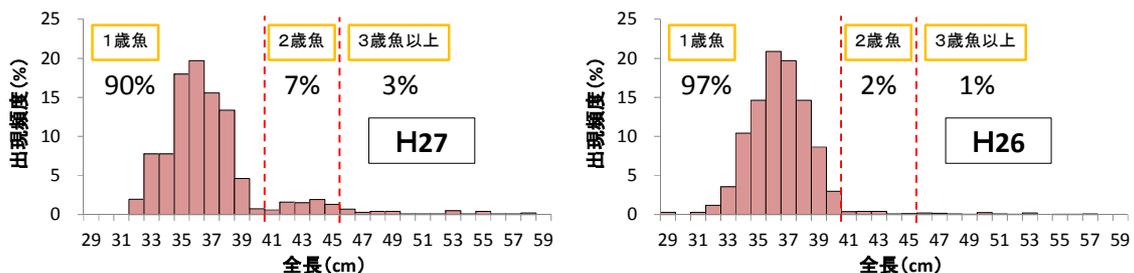


図3 片名市場において10月に水揚げされたトラフグの全長組成

10月号でもお伝えしたとおり、今漁期の漁獲量は前漁期を上回り、1歳魚、2歳魚ともに資源尾数も多いと推定されることから、漁期前半に小型の1歳魚を獲り残すことで、今漁期後半、そして来漁期以降の水揚げ金額の増大が期待されます。